

環境にやさしいまちづくりWG「サイクリングマップづくり」報告

私達のグループは、少ない人数の中で「緑化」「公共交通」「エコマネー」の3つの取り組みを行っています。「公共交通」については、通勤や買い物に公共交通機関を利用することで限りある石油資源の節約、二酸化炭素削減を目指していますが、鹿児島市の中心街では公共交通機関も便利ですが、周辺地域になると乗り場までの移動がどうしても不便になります。そこで自転車等との併用で環境に優しい活動ができるのではと思います、現在は主な自転車通行可の歩道をサイクリングしたり、散策しております。

谷山慈眼寺周辺には、自転車の通行できる歩道が4本あり、交通班では6月20日(土)この4本の道路を散策・サイクリングする計画を立てました。

当日は、環境未来館から電動アシスト自転車を貸していただき、MTBも3台、男性4名でしたので、今回はサイクリングという事に決まりました。



午前10時過ぎ、慈眼寺の駐車場出発。駐車場から上の道路までは急勾配でしたが、アシスト自転車でなんとか上がることが出来ました。

そこから慈眼寺公園入口まで下り、慈眼寺東公園を左折して、慈眼寺駅方向へ、以前「ケンカ道」と言われた道路のほうに走って行くと、現在区画整理中でこれを迂回、道路が完成すると、道幅も広がり、本当に走り易い道になるのではと思います。

県道伊作線に出て、旧農業試験場下にあるラークスの信号を右折、ちょっと狭い道でしたが、新永田橋の袂まで、そこで反対車線を折り返して南高校のところで左折、谷山中学校へと先程の「ケンカ道」の1本下の道を戻りました。

南高校には「長淵剛」の石碑があるという事でしたが、高校生たちが部活をしていたので、中に入りませんでした。

そのまま進んで、途中タイヨー和田店の前の225号線に出て、和田小のところで川沿いを慈眼寺まで戻って約1時間ちょっとのコースでした。

途中で迫田さんから電話が入り、定例会のソーメン流しで待っておられるという事でした。5名で食事を済ませ、橋の横のベンチに座って、成田さんを講師としてエコマネーの学習会を1時間程度行いました。



この間に、慈眼寺の野鳥にお詳しい家の方と出会い、貴重な「サンコウチョウ」の話を伺うことが出来ました。

例年1ツガイが川の上の手の届きそうな所に、ヘビを避けて営巣するのだそうですが、近年、多くの人々が珍しがって近寄ったので驚いて逃げていったとか。

私達の活動も、このように外に出て観察すると、多くの人との出会いや、感じることも多くなるのではないかと思います。

今回は1時間半位10Km程度の行程でしたが、アシスト自転車では楽にサイクリングすることができました。

さすがに慈眼寺へ登る坂は人間の足ストも頑張りましたが、メンバー唯一の若者は自転車を押すことなく登ることが出来ました。

次回は、環境未来館近くの団地の往復をアシスト自転車で走ってみるのも面白いのではと思います。